

令和2年度 学校評価について

◆教職員・保護者・学校評議員集計結果

	項目	教職員		保護者	評議員
1	お子さんは、学校が楽しく、元気に登校している。	3.1	◎	3.6	3.5
2	お子さんは、「読み・書き・計算」などの基礎的学力が身についてきている。	2.8	◎	3.3	0.7
3	お子さんは、「思いやりのある子」に育ってきている。	2.9	◎	3.4	2.2
4	お子さんは、運動を楽しみ、基礎的な体力は、向上してきている。	2.8	◎	3.3	1.5
5	お子さんは、授業がわかりやすいと感じている。	2.7	◎	3.2	0.7
6	お子さんは、「あいさつができる子」に育ってきている。	2.6	◎	3.2	2.5
7	お子さんは、学級や図書室の本をよく利用し、読書に親しんでいる。	3.0	—	3.0	2.2
8	お子さんは、英語に興味や関心を持っている。	3.1	—	3.1	0.0
9	運動会などの学校行事は、充実した取り組みとなっている。	2.8	○	3.2	2.3
10	学校は、児童の健康、安全に十分配慮している。	3.1	○	3.4	3.5
11	本校の食育は、子供のよりよい生活習慣づくりにつながっている。	3.4	○	3.7	3.2
12	地域や保護者に対して、開かれた学校づくりを進めている。	2.8	○	3.2	2.2
13	地域や外部の方と連携・協力して教育活動がすすめられている。	2.8	○	3.3	2.2
14	学校は、悩みや困ったことを相談しやすい。	2.9	—	3.0	1.2
15	学校は、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。	3.1	—	3.1	1.7
16	スクールカウンセラーは有効に活用されている。	2.8	▼	2.7	0.7
17	学校は、校内美化(清掃・掲示物・花壇など)に積極的に取り組んでいる。	3.0	○	3.4	2.8
18	児童の登下校の安全は、配慮されている。	3.3	—	3.4	3.3
19	学校は、臨時休業中の連絡や学習課題の設定を適切に行っている。	3.2	—	3.2	0.8
20	学校は、臨時休業明けの教育課程の変更等の説明や連絡を適切に行っている。	3.3	▼	3.2	0.8

※教職員より保護者の数値が
 0.5ポイント以上高い項目に“◎”【保護者が好意的な意識】
 0.2～0.4ポイント高い項目に“○”【保護者が好意的な意識】
 0～0.1ポイント差の項目に“—”【ほぼ同じ意識】
 低い項目に“▼”【改善の余地あり】

※評議員の数値が全体的に低いのは、「わからない」=0として平均化しているため

※全校児童数791名、回収数730名。回収率 92.2%

◆学校評議員より(いただいたご意見等)

- ・本年度は学校へ行く機会がなかったのではほとんど「わからない」評価となってしまいました。子供達がたのしく学校へ行っている等、学校生活が充実しているところの保護者の評価が高いのはすばらしいと思いました。学習面においては保護者より先生方の評価が厳しめで、その点についてはこれから先生方が益々頑張ってくださいのだろうと期待が持てて嬉しいです。早くコロナが収束する事を祈っています。次年度も宜しくお願い致します。
 - ・コロナウィルスの早期終息を祈るばかりです。
 - ・「あいさつができる子」は、先に出来る子が100%ではないが、80%は出来ていると思う。
- (・評価については一昨年以前のものと考えてください。)
- ・登校時、通学路の様子を見ることにしております。ただ、学校での様子を見せていただく機会がコロナの為に無く、子供達の生活にふれることができず、アンケートに「わからない」が多くなりました。
 - ・コロナ禍の中、様々な対応をされ、ご苦労も多いことと思います。私達ができることも限られていますが、ご意見等を聞かせていただき協力できればと思います。
 - ・自宅に小学生向きの本などあるのですが、図書室で借りることができなかつたと言って、喜んで読んでいる子供が多いです。競争率が高い本なのかもしれません。
 - ・学校がお休みの間、おうちにいる事が好きで学校に行きたくない、などの声も聞く事がありましたので、お知らせしておきます。
 - ・このコロナ禍の中で、感染拡大に注意しながらできる限りの対応をされていると思います。
 - ・誰もが初めての経験の中で、教職員の皆様方には、感謝申し上げます。なかなか校内の様子もわかりにくく、みてない部分が多く、☆印が多くなりました。これから先も、どうなっていくのか不安ばかりですが、子供たちの笑顔がなくならないよう、大人が守っていくしかありません。新しい様式の中で、勉強、行事などの学校生活をどうしていくのか、新年度をどう迎えるのか、今後もできる限りはご協力させていただきます。

◆分析及び今後に向けて

今年度4月、臨時休校からスタートし、6月から学校が再開されました。感染症対策として、交流を極力避けて教育活動を進めてきました。学習形態にも大きな影響があり、ペア学習、グループワークなどを控えながらの授業展開でした。そのため、教職員は、学習の定着や体力の向上、授業のわかりやすさ等について、厳しい評価を出しています。あいさつについても、教室内で大きな声を出さないことやマスクを外したら話をしてはいけないこと等の制約があり、「声を出して元気よくあいさつしよう」等とは指導できない状況にあるため、低い数値になっているのだと捉えております。次年度もコロナ禍という状況は、まだ続きそうです。学校として、コロナ禍の中、如何に子供たちのよりよい成長に繋げていくか、知恵を出し合い、努力していく所存です。

◆学校評価について

今年度は、コロナ禍という状況下を考慮して、評価していただく学校評議員の方には一度も来校していただいておりません。学校評議員からの学校評価については、全て郵送にて実施させていただきました。また、保護者の方の来校(参観)機会は、入学式、法西スポーツフェスティバル(体育参観及び当日)、授業Zoom参観等と限定させていただきました。学校評議員、保護者の方、いずれも学校の状況がほとんどわからない状況でアンケートにお答えいただいております。このような状況下で、学校として何が出来るか、しっかりと見つめ直していく機会にしていきたいと考えております。ご協力感謝申し上げます。